

[事前登録制]

第2回感染症疫学セミナー開催のお知らせ

日本における実地疫学の父であり、FETP-J(国立感染症研究所)指導者、元EIS指導者(米国CDC)のJohn Kobayashi先生を講師にお迎えし、医療関連感染症疫学セミナーを開催致します。今回は、感染症対策を行う上で必要なコミュニケーションや情報共有の考え方、ピットフォールについてのご講演をいただき、さらにパネルディスカッションを通して「リスクコミュニケーション」について参加者の皆様とともに考えていきます。

「感染症対策におけるリスクコミュニケーションを考える」

[プログラム] (John先生の講義・質疑は英語です。 通訳はありません)

総合司会: 賀来満夫(東北大学大学院医学系研究科 内科病態学講座 感染制御・検査診断学、東北大学病院 総合感染症科/検査部)

1. 「医療機関が行うリスクコミュニケーション、公衆衛生部門との調整、メディア対応」
堀 成美(感染症対策専門職、国立国際医療研究センター 国際感染症センター)
2. ” Risk Communication in Public health - Theory and Practice- “(英語)
John Kobayashi (University of Washington, FETP-J指導者)
3. パネルディスカッション
パネラー: John Kobayashi 先生(University of Washington, FETP-J指導者)
堀成美(国立国際医療研究センター国際感染症センター)
大曲貴夫(国立国際医療研究センター国際感染症センター)

日時: 2014年10月27日(月)18:30 - 20:00

場所: 国立国際医療研究センター 研修棟第一会議室
(新宿区戸山1-21-1)

対象: 感染症対策や感染症治療に従事する保健所・自治体の担当者、指導医、感染管理の責任者

参加費: 無料

★本セミナーは事前登録制です(先着30名)

氏名・所属(施設・科)・職種・連絡先を明記の上、メールにて、下記アドレスにお申し込みください。

Hospitalepidemiology2014 * gmail.com (*を@に変換してください)

事務局: 国立国際医療研究センター国際感染症センター 国際感染症対策室
メール: 上記アドレス 電話 03-3202-7181 内線4483



東北大学

共催: 国立国際医療研究センター国際感染症センター
東北大学大学院内科病態学講座 感染制御検査診断学分野

